

事業報告書

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラリスト振興財団
2024年度 事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラリストの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)【公1】

・ナチュラリストの分野を動物・非動物に分け、今年度は日本国内の大学、研究施設に勤務するか、又は日本国内に居住する動物分野の研究を行っている個人又はグループに対し、研究に必要な資金を助成する。

・2025年1月29日開催の第59回理事会において、動物学141名(申請辞退者3名除く)の申請の中から、2回の選考委員会によって23名が選ばれ、総額14,751,000円を2024年度の学術研究助成として承認し、贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラリストの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)【公1】

・例年実施している高等学校助成に加え、2024年1月1日に発生した能登半島地震で被災した中等教育機関(中学校・高等学校)に理科及び生物授業で使用する備品を助成するためWEBサイトで対象校を募集した。その結果、中学校17校・高等学校3校、特別支援学校1校の計21校からの申請があった。選考委員会を実施して、現地アドバイザーの助言をふまえ、選考委員会で申請のあった全校に優先度の高い物品が必ず1つ以上は助成できるように各校と調整しすることとした。各校との調整で希望物品を決め、9月26日付けで各学校に決定通知書を送付した。(総額4,502,184円)理事全員には経過報告書を送付し了承を得て、2025年1月29日開催の第59回理事会で最終報告を行った。

(助成校一覧:別表2参照)

・2024年度は、初等中等教育機関の中で、特に高等学校における生物の授業に必要な備品の購入等への補助を、日本国内の高等学校、並びに各国の日本人学校の高等部に対し行った。
補助の内容は、(A)①必要な備品の購入、②日本国内での課外活動に必要な交通費等、(B)古い生徒用顕微鏡の買換えとする。

・2025年1月29日開催の第59回理事会において33件(A①16件、②4件、B13件)の申請の中から2回の選考委員会で選考された6件(A①2件・②1件、B3件)総額3,988,830円(A①840,280円、A②300,000円、B 2,848,550円)が承認された。その後、助成Bの1校が他の法人から助成を受けたため辞退したことで、選考課程で候補となっていたが同じ地区であったため見合わせていた学校を繰り上げ採択とし、2025年3月13日開催の第60回理事会で変更が承認された。それにより2024年度高等学校助成は6件(A①2件・②1件、B3件)、総額3,975,260円(A①840,280円、A②300,000円、B 2,834,980円)となり、各校に贈呈した。

(助成校一覧:別表3参照)

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)

(1) 2024年度シンポジウム【公2】

・2024年10月20日ナチュラリストに関する第16回シンポジウム(テーマ:新種発見の自然史)を、中央大学後楽園キャンパスにおいてハイブリッド形式で開催し、4名の講師による以下の講演を行った。

- ・松浦 啓一(国立科学博物館) 「魚の新種はどこから見つかるのか?新種発見の歴史と今後の展望」
- ・田中 伸幸(国立科学博物館) 「東南アジアの未知なる花ー多様な新種発見・記載のプロセス」
- ・奥村 よほ子(佐野市葛生化石館) 「新発見は研究のはじまり」
- ・宮脇 律郎(国立科学博物館) 「鉱物の新種発見と国際鉱物学連合、新鉱物命名分類委員会の活動」

(2) 2024年度高校生ポスター研究発表【公2】

第14回高校生ポスター研究発表を、昨年同様、オンラインで11月10日に開催した。1校1課題として、10校の高校生によるポスター発表が行われた。また、矢島道子先生より、「ミジンコと恐竜」と題した特別講演が行われた。発表後に以下のとおり、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最優秀賞

「九州のゲンジボタルの明滅周期に関する研究」

学校法人池田学園池田高等学校: 田口世南・早川 葵・鎌田 美舞菜

優秀賞

「沖縄県産マメスナギンチャク刺胞毒解析とカクレクマノミにおける耐性の解明」

早稲田大学高等学院: 鈴木雅人

「日本産カマス属魚類の鰓に寄生する*Caniongiella*属単生類の分類学的研究」

学校法人三木学園白陵高等学校: 下山小梅・山本栞奈・堀川莉緒

(3) 2024年度フォトコンテスト【他1】

① 中高生フォトコンテスト

第11回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催し、223作品の応募があった。伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第11回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、第57回電磁的みなし理事会(11月29日)で承認された。その後、受賞者1名から辞退の申し出があったため、繰り上げ作品を選考し、第58回電磁的みなし理事会(12月10日)で承認を経た結果、以下のとおり最優秀賞1作品並びに優秀賞2作品、佳作12作品を決定した。

最優秀賞 「飛来」 朝比奈 灯利(東京都立川市立第一中学校)

優秀賞 「ちいさな、関係。」 田村 和暉(茗溪学園中学校高等学校: 高等学校)

「街を眺める」 上田 葉月(豊島岡女子学園中学校)

佳 作 「大乱舞」 市川 真之介(常総学院高等学校) 他11作品

② フォトコンテスト(一般)

一般の第16回フォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催し、77作品の応募があり、伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第16回フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、2025年1月29日開催の第59回理事会において、以下のとおり最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作6作品を決定した。

最優秀賞 「バンザイ」 富山 隆志

優秀賞 「湧水の砂浜」 佐々木 亮太郎

「八つの瞳」 松林 宏

佳 作 「秋空を舞う」 伊藤 京子 他5作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを当財団ホームページに掲載した。全応募作品も掲載済みである。

Ⅱ. 庶務の概要

① 役員会等に関する事項

(1) 理事会(総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
	1 2023年度事業報告及び附属明細書承認の件	全会一致で承認・可決	理事8、監事1
	2 2023年度収支決算書承認の件	全会一致で承認・可決	
	3 評議員候補者選任の件	全会一致で承認・可決	
	4 理事候補者及び顧問選任の件(理事2名各々・顧問1名)	全会一致で承認・可決	
	5 高等学校助成選考委員選任の件	全会一致で承認・可決	

2024年5月29日 第56回理事会	6 能登半島地震被災校への理科用品特別助成 選考委員 選任の件 7 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等 について 報告事項: (1) 理事長の職務執行報告、(2) 常務理事の職務執行報告 その他: 各事業委員長と事務局から、2024年度の各事業の開催方法等の報告等	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	
2024年11月29日 (電磁的 みなし) 第57回理事会	1 第11回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	同意書: 理事9 異議なし書: 監事2
2024年12月10日 (電磁的 みなし) 第58回理事会	1 第11回中学生・高校生フォトコンテスト受賞者辞退による 繰り上げ作品の件	全会一致で承認・可決	同意書: 理事9 異議なし書: 監事2
2025年1月29日 第59回理事会	1 2024年度学術研究助成決定の件 2 2024年度高等学校助成決定の件 3 2024年度第16回フォトコンテスト受賞者承認の件 報告事項: (1) 理事長の職務執行状況報告、(2) 常務理事の財務報告 その他: 検討事項 (1) 学術研究助成の運営方法、(2) 高校生ポスター発表、(3) シンポジウムの開催 (①東京以外②東京)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2
2025年3月13日 第60回理事会	1 2025年度事業計画承認の件 2 2025年度収支予算書承認の件 (資金調達並びに重要な設備投資の見込みを含む) 3 2025年3月預け入れ承認の件 4 2025年度学術研究助成並びに高等学校助成選考委員選任の件 5 シンポジウム開催の件 (1) 東京以外 (2) 東京 6 2024年度高等学校助成採択校変更の件 報告事項: 公益法人制度改革への対応 (外部理事・外部監事の選任について) 検討事項: (1) 高校生ポスター研究発表開催日程、(2) その他: 2025年度学術研究助成選考方法	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2

(2) 評議員会 (総評議員数10名、定足数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2024年6月13日 第15回定時評議員会	1 2023年度事業報告並びに附属明細書報告の件 2 2023年度収支決算書承認の件 3 評議員選任の件 4 理事選任の件 報告事項: 2024年度事業計画・収支予算書、理事長の職務執行状況報告、常務理事の職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	評議員8 (理事8、監事2)

(3) 選考委員会 (学術研究助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年5月31日	1 選考委員長と分野長の選出 2 学術研究助成についての説明 3 審査の方法 4 評価の方法 5 応募要領及び申請書について	大越健嗣氏 (東邦大学理学部東京湾生態系研究センター 訪問教授) を委員長に選任した。申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付き4～1の評点を記し、総合評価としてA～Dの評点を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に、選考委員会において最終決定することを承認した。

2024年12月6日	2024年度学術研究助成(動物学)候補者選定の件	候補者23名、総額14,751,000円を選考した。又、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者6名を選考した。その後の取扱いについては選考委員長に一任する。
------------	--------------------------	---

(4)選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年6月8日	1 選考委員長の選出 2 募集案内及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	宇都宮 裕氏(都立成瀬高等学校)を委員長に選出。事務局より助成総額と各助成金額と助成内容(A①備品・②日本国内での課外活動に必要な交通費等の補助・B生使用の古い顕微鏡の買換え補助)は昨年度と同様という説明がなされた。申請案件を各選考委員によって、A①と②は3つの評価項目の評点(5～1点)、総合評価(A～D)、を記入した評価表を作成、これらをまとめた総合評価表を基に最終決定することを承認。又、Bについては顕微鏡の集計一覧表を確認の上、古いもの・地域性を考慮して優先順位をつけることを承認。
2024年12月14日	2024年度高等学校助成候補校選定の件	33件の申請(A①16件、A②4件、B13件)から候補校6件(A①2件・②1件・B3件)、総額3,988,830円を選考した。物価高等が著しいため、金額は委員会後に各候補校より見積書の提出を受けて検討することになった。(後、助成B1校の辞退により繰り上げ採択し総額3,975,260円となる。)

(5)選考委員会(高等学校助成：能登地震被災校に対する理科用品特別助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年4月8日 (オンライン)	申請書フォーム、助成スケジュール、広報の方法等の検討	現地の状況把握・募集方法・申請書様式・教育委員会への広報依頼等について検討した。石川県教育委員会と富山県教育委員会に被災校へ当助成の広報を依頼した。委員会審議の結果に基づき、財団Webページ上で募集をする。
2024年8月20日	助成物品の評価基準・助成物品の検討	申請校の数と申請物品が多かったため、申請校全校に希望物品の1つは助成するスタンスで各校の優先順位の高い物品から助成することにした。なお今後の流れとして、各学校に連絡、内容を調整した結果についてはメールで連絡をとり検討することとした。

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
動物学	大越 健嗣	2024年4月1日	東邦大学理学部東京湾生態系研究センター 訪問教授	委員長
〃	吉田 薫	〃	桐蔭横浜大学大学院工学研究科 教授	
〃	中江 雅典	〃	国立科学博物館動物研究部 研究主幹	
〃	石川 忠	〃	東京農業大学農学部生物資源開発学科 昆虫学研究室 教	
〃	箕浦 高子	〃	中央大学理工学部生命科学科 教授	
〃	上田 恵介	〃	立教大学名誉教授 日本野鳥の会会長(財団理事)	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
宇都宮 裕	2024年5月29日	東京都立成瀬高等学校 教諭	委員長
太田 賢良	〃	正則高等学校 教諭	
外山 秋沙	〃	都立農産高等学校 教諭	

選考委員(能登半島地震被災校に対する理科用品特別助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
窪川かおる	2024年5月29日	帝京大学先端総合研究機構 特任教授	
矢島道子	〃	東京都立大学理学部生命科学科 非常勤講師	
藤原基美子	〃	財団事務局長	

*現地アドバイザーとして 一般社団法人 能登里海教育研究所 主幹研究員□浦田 慎先生のご協力を頂いた。

② 職員に関する事項

(2025年3月末日現在)

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備考
職 員	非常勤	藤原 基美子	1980年9月28日	事務局長	
職 員	常勤	伴 志保	2023年12月18日	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出・提出内容	備考
2024年6月27日	2023年度 事業報告・決算書の提出	
2024年7月11日	変更の届出(理事2名辞任による交代)	
2025年3月28日	2025年度 事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みの提出	

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

以 上

学 術 研 究 助 成 者 一 覧 表

2024年度(第33回)

助成総額 14,751,000円

[動物学] 23名

No.	氏 名	研 究 課 題 名	助成金額 (単位:万円)
1	近藤 拳太	日本産ウメボシイソギンチャクの分類学的研究～ウメボシイソギンチャクの真の正体とは？！～	60
2	柳 拓明	ハビタットの進化は食性進化の駆動要因になるか？	70
3	佐野 勲	カタハガイの宿主利用の特殊化による種分化メカニズムの解明	56
4	小島 渉	島嶼におけるニホンヒキガエルの体サイズの多様化	56.4
5	阿部 大地	明治前期に編纂された地誌・物産誌における動物情報の研究	58.5
6	鈴木 佑弥	湿地環境が水面性クモ類の生活史形質におよぼす影響の解明～止水系と流水系の比較から～	70
7	藏満 司夢	ゾウムシ成虫の頑丈な体に内部寄生する寄生蜂 <i>Perilitus</i> sp.:その産卵戦略の解明	65.4
8	角田 智詞	河川敷の砂地に生息するヒゲコガネの遺伝的構造と浸水への適応応答機構の解明	60
9	表 溪太	北海道とサハリンにおける氷期遺存種キタナキウサギの生物地理	41.7
10	深井こるり	佐渡島平野部に生息するモリアオガエル成体の移動ルートと生息環境の解明	40.3
11	佐藤 臨	小笠原諸島の洞穴性蛾類における音響交信特性	82
12	深草 彩子	絶対的単為生殖種オガサワラヤモリの大東諸島と琉球列島における進化プロセスの解明	70
13	椎葉 瞭太	ハバビロチビゴミ群, 特に高地環境に生息する属に着目した包括的分類学的研究	83.3
14	井ノ上綾音	タゴガエル種群における交配前隔離機構の解明	84.4
15	小川 晟人	日本海溝における超深海性ナマコ類の多様性に関する研究	60
16	中村 潤平	コモンハタ近似種群を中心とした日本産ハタ科ハタ亜科魚類の分類学的研究	48
17	松島 吉伸	ヤドカリ型生活様式をとるタナイス目 甲殻類の適応形態の進化史	60
18	保田 海	大規模再生能をもつ囊舌類ウミウシの種の探索と生態的要因の解明	71.1
19	高橋 遥花	地中の隠れていた生物多様性を解き明かす	60.9
20	浜口 純平	小笠原諸島産 <i>Stathmopoda</i> 属 (チョウ目:ニセマイコガ科) における適応放散過程の解明と生殖的隔離の検証	70
21	坂根 広大	カメ類・鳥類のクチバン領域における血管形態の解析:クチバン獲得プロセスの解明に向けてⅢ	72.3
22	大島 雅晴	日本産ホコリチビダニ科の多様性研究 -ハビタット拡大様式の解明を目指して-	70
23	河合 諒人	後体節操出機構をもつハエヤドリクロバチ科寄生蜂の構造的特徴と系統関係	64.8
合 計			1475.1

能登半島地震被災校に対する理科用品特別助成結果

助 成 総 額 4,502,184円

NO.	所属	助成品目	数量	助成 金額 (単位:円)
1	珠洲市立宝立小中学校	生物顕微鏡	4台	123,600
2	珠洲市立大谷小中学校	顕微鏡用品 カバーグラス他 一式		2,010
3	氷見市立南部中学校	電子てんびん	4台	120,000
4	輪島市立東陽中学校	アクアリウムセット	1台	58,840
		ガラス用品 ビーカー、試験管・スライドグラス他 一式		
5	羽咋市立邑知中学校	生物顕微鏡	9台	284,239
		ガラス用品 ピペット 一式		
6	氷見市立西條中学校	双眼実体顕微鏡	12台	368,400
7	羽咋市立羽咋中学校	電子天秤	4台	130,680
8	石川県立七尾特別支援学校輪島分校	培養土	20袋	19,720
9	志賀町立富来中学校	デジタル顕微鏡カメラ	1台	69,520
10	石川県立田鶴浜高等学校	リービッヒ冷却器	1台	10,010
11	内灘町立内灘中学校	生物顕微鏡	30台	939,675
12	穴水町立穴水中学校	生物顕微鏡	5台	166,050
		ガラス用品 ビーカー 一式		
13	珠洲市立三崎中学校	生物顕微鏡	2台	79,800
		ガラス用品 ビーカー 一式		
14	輪島市立輪島中学校	生物顕微鏡	20台	719,400
		実験用運搬車	2台	
15	七尾市立中島中学校	双眼実体顕微鏡	2台	64,900
16	富山県氷見市立北部中学校	WIFIタブレット型顕微鏡	1台	316,000
17	石川県立七尾高等学校	対物マイクロメーター	40個	138,600
18	珠洲市立緑丘中学校	薬品庫	1台	182,000
19	氷見市立十三中学校	生物顕微鏡	2台	63,600
20	石川県立輪島高等学校	低温インキュベーター	1台	490,640
		ガラス用品 ビーカー類 一式		
21	輪島市立門前中学校	生物顕微鏡	5台	154,500
			合計	4,502,184

2024年度(第33回)高等学校助成 助成校一覧表

【A① 備品助成】

	申請者氏名・学校名	使用対象者数	品 名(消費税10%)	金額
1	原誠実 島根県立松江東高等学校 普通科課程	1年 — 2年 — 3年 — クラブ活動2名	ナリカ ワイヤレススペクトロメーター E-31-8200-34 単価99,980(消費税込み) 台数1	99,980円
			合計	99,980円
2	山家美穂 愛媛県立松山中央高等学校	1年 — 2年 274名 3年 198名	DLAB サーマルサイクラー TC1000-G 単価520,300(消費税込み) 台数1 ナリカ トランスイルミネーター LED-100 G40-2761 単価220,000(消費税込み) 台数1	520,300円 220,000円
			合計	740,300円
A① 合計				840,280円

【A② 交通費助成】

	申請者氏名・学校名	使用対象者数	対 象	
1	板井巖 富山県立砺波高等学校 普通科課程	1年 — 2年 30名 3年 — 引率教員4名	臨海実習	300,000円
			合計	300,000円
A② 合計				300,000円

【B 生徒用顕微鏡の買換え補助】

	申請者氏名・学校名	使用対象者数	品 名	金額
1	松木里佳 土佐塾高等学校 普通課程	1年 177名 2年 169名 3年 179名	ウチダ8-170-0490 生物顕微鏡 SL-600M 単価49,940(消費税込み) 台数17	848,980円
			合計	848,980円
2	廻田卓哉 石川県立金沢北陵高等学校	1年 145名 2年 184名 3年 164名 部活動20名	ケニス1-149-0944 生物顕微鏡 JLS-600M 単価50,000(消費税込み) 台数20	1,000,000円
			合計	1,000,000円
3	永田博和 大阪府立吹田高等学校	1年 240名 2年 — 3年 60名	KS-Ⅱ 400LN ナリカD21-4529-10 単価29,000(消費税込み) 台数34	986,000円
			合計	986,000円
B 合計				2,834,980円

助 成 額 合 計

3,975,260円